



SHIRAKAWA CHOCHIN(Paper lantern) FESTIVAL

Shirakawa Chochin Festival with fantastic lantern lights is the major festival of Kashima Shrine that the locals have served as the main shrine of Shirakawa region for a long time. The festival boasts its long history and tradition of over 400 years and provides magnificent events such as miniature shrine carrying lantern parades, stalls, floats running and more.

The scenery of long continuous lantern lights is indescribably beautiful.

幻想的な提灯の灯りに彩られる白河提灯まつりは、白河を代表する祭礼として、長きにわたり地域に守られてきた鹿嶋神社の例大祭です。400年以上の歴史と伝統を誇り、神輿渡御や提灯行列、屋台・山車の引き回しなどが行われます。

提灯の灯りが長く続く風景は、言葉では言い表せない美しさです。

白河提灯まつりは、昨年、初めて目にしました。ほかのALTの先生たちと一緒に、掛け声をかけながら見学しましたが、本当にワクワクしました。

神輿を直接見たのは初めてで、勇壮な姿が印象的でしたし、先達提灯が高く上げられる様子にも驚きました。

会場全体にエネルギーが満ちているように感じられて、とにかく「すごい！」と思いました。うまく言葉にすることが難しいくらい、刺激的な体験でした。



アブラハム・サミュエル・ジョン先生 (オーストラリア)

英語でひとこと!

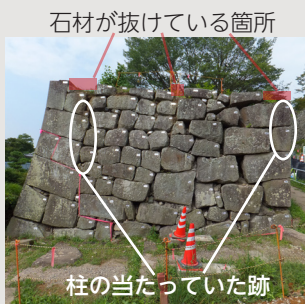
Hello



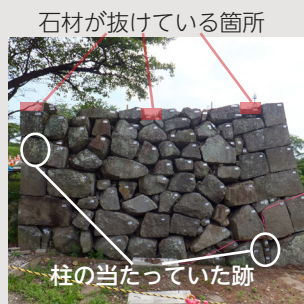
Don't forget to love each other.

(お互いに愛することを忘れないでください。)

また、平成3年に行われた発掘調査で確認した礎石が、石材が抜けている部分を結ぶ直線上



▲修復前の清水門西側の石垣



▲修復前の清水門東側の石垣

今回は、清水門石垣の修復において検討した、石垣を元に戻す工夫の一例を紹介します。石垣の一番上の段は、部分的に石材が抜けており、凹凸が見られます。当初は、元々は石材があったと想定し、石材を追加して、まっすぐにそろえる計画でした。しかし、石垣表面の観察により、石材が抜けている部分の下の石垣表面に、柱が当たっていた跡が確認できました。

小峰城の石垣

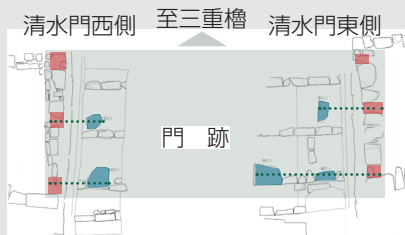
⑥ 災害復旧で分かったこと
清水門石垣の復元

文化財課 ☎ 2310

石垣復旧メモ

門跡の石垣には、柱の当たる部分がくぼむ加工などが施されています。そうした痕跡を損なわずに後世に伝えるため、復元を行いました。

石垣には、石材の加工や積み方に違いが見られる箇所があります。その違いの意味を明らかにするために、石垣面の観察結果や発掘調査、絵図面の情報について、総合的に検討を行い修復に役立てています。



▲清水門跡平面図 (図の上が北)